

## 3.1 2017年度以降入学者の履修規程

## 3.1.1 卒業所要単位

2017年度以降入学者用カリキュラム(一般学生用)

区分・系列			単位要件			
I L A C (ア イ ラ ッ ク) 科 目	1 0 0 番 台	基盤科目	0群	選択		
			1群	選択必修	4単位以上	
			2群	選択必修	4単位以上	
			3群	選択必修	4単位以上	
			5群	必修 選択	2単位(スポーツ総合演習) (修得上限2単位)	
	2 0 0 番 台	外国語科目	4群	英語	必修	4単位
				諸外国語	必修	4単位
				0群	選択	
	リベラルアーツ科目	1群	選択必修	2単位以上		
		2群	選択必修	2単位以上		
3群		選択必修	2単位以上			
4群		選択				
5群		選択				
外国語科目	4群	諸外国語	必修	2単位		
		英語	選択			
		諸外国語共通	選択			
リ テ ラ ー シ ー 科 目	フレッシュマン科目	「人間環境学への招待」		必修	2単位	
		「基礎演習」		必修	2単位	
	スキルアップ科目	情報処理		選択必修	2単位以上	
		アクティブ語学 テーマ別英語				
専 門 科 目	展開科目	法律・政治関連科目群 経済・経営関連科目群 社会・地域関連科目群 人文科学関連科目群 自然科学関連科目群 環境総合科目	コース共通※1	選択必修	10単位以上	
			コースコア※1	選択必修	20単位以上	
			コース連環※1	選択		
	「人間環境セミナー」		選択必修	6単位以上	(修得上限なし)	
	「フィールドスタディ」				(修得上限8単位)	
	「キャリアチャレンジ」				(修得上限6単位)	
	「研究会」		選択	(修得上限20単位)		
	卒業論文	「研究会修了論文」		選択	(修得上限2単位)	
		「コース修了論文」				
	「人間環境特論」		選択	(修得上限なし)		
	「インターンシップ」※2		選択	(修得上限4単位)		
	「スタディ・アプロード」		選択	(修得上限16単位)		
	「SCOPE科目」		選択	(修得上限12単位)		
「自由科目」※3		選択	(修得上限20単位)			

40 単位以上

130 単位以上

90 単位以上

84 単位以上

※1 科目は1年生から履修可能です。コースは2年次から選択します。コース関連科目は「コース関連表」参照。

※2 「インターンシップ」は、2018年度末で廃止になりました。

※3 展開科目の「自由科目」には「他学部公開科目」、「ESOP科目」、「ERP科目」、「グローバルオープン科目」、「短期語学研修」、「国際インターンシップ」、「国際ボランティア」が該当します。

3.1.2 カリキュラム構成図

I LAC科目 (40単位以上)

0群	1群	2群	3群	4群	5群
[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[必修] 英語 ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 スペイン語 朝鮮語  [選択] 選択英語 4群外国語選択 科目(諸外国語)  学部-(57)科目 一覧表参照	スポーツ総合演習 スポーツ総合演習S 健康の科学LA/LB

学部専門科目 (90単位以上)

●リテラシー科目 (6単位以上)

フレッシュマン科目 (4単位)	スキルアップ科目 (2単位以上)
人間環境学への招待 基礎演習	<情報処理> 情報処理基礎 ネットワークとマルチメディア 統計とデータ分析  <アクティブ語学> 英語Ⅰ(初級会話) 英語Ⅱ(中級会話) 英語Ⅲ(上級会話) 英語Ⅳ(ビジネス会話)  <テーマ別英語> テーマ別英語1 テーマ別英語2 テーマ別英語3 テーマ別英語4

●展開科目 (コース共通科目から10単位以上かつコースコア科目から20単以上を含む84単位以上)

科目群	展開科目	政策科目
法律・政治関連	基幹科目 憲法の基礎 刑法の基礎 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ アメリカ法の基礎 民事法Ⅰ 民事法Ⅱ 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 市民社会と政治 行政学 地方自治論 国際関係論 平和学 政策科目 環境法Ⅰ 環境法Ⅱ 環境法Ⅲ 環境法Ⅳ 労働環境法 国際環境法 アメリカ環境法 自治体環境政策論Ⅰ 自治体環境政策論Ⅱ 地球環境政 治論 地域協力・統合 エネルギー政策論 人間の安全保障	自由科目 SCOPE科目 スタディ・アブロード キャリアアチャレンジ フィールドスタディ 人間環境セミナー 人間環境特論 研究会修了論文/コース修了論文 研究会(ゼミナール)
経済・経営関連	基幹科目 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 公共経済学 現代企業論 ビジネスヒストリー 経営学入門 環境経営と会計 簿記入門Ⅰ、簿記入門Ⅱ 政策科目 環境経済論Ⅰ 環境経済論Ⅱ 環境経営論Ⅰ 環境経営論Ⅱ CSR論Ⅰ CSR論Ⅱ 環境ビジネス論 国際環境政策Ⅰ 国際環境政策Ⅱ 途上国経済論Ⅰ 途上国経済論Ⅱ 国際経済協力論Ⅰ 国際経済協力論Ⅱ	
社会・地域関連	基幹科目 現代社会論Ⅰ 現代社会論Ⅱ 現代社会論Ⅲ NP0・ボランティア論 社会統計論 フィールド調査論 ファシリテーション論 グローバル・コミュニケーション 政策科目 地域形成論 地域経済論 地域福祉論 地域コモンズ論 都市環境論Ⅰ 都市環境論Ⅱ 都市デザイン論 環境社会論Ⅰ 環境社会論Ⅱ 環境社会論Ⅲ 労働環境論Ⅰ 労働環境論Ⅱ NGO活動論 災害政策論 科学技術社会論 社会開発論 開発教育 文化経営論 アーティストと社会貢献 国際社会学	
人文科学関連	基幹科目 環境倫理学 生命の現在と倫理 西欧近代批判の思想 仏教思想 日本美術史論 西洋美術史論 日本詩歌の伝統 日本環境史論Ⅰ ヨーロッパ環境史論Ⅰ 比較演劇論Ⅰ 環境表象論Ⅰ 環境人類学Ⅰ 現代思想と人間Ⅰ 政策科目 環境哲学基礎論 日本環境史論Ⅱ ヨーロッパ環境史論Ⅱ 比較演劇論Ⅱ 環境表象論Ⅱ 環境人類学Ⅱ 環境人類学Ⅲ 現代思想と人間Ⅱ	
自然科学関連	基幹科目 サイエンスカフェⅠ サイエンスカフェⅡ サイエンスカフェⅢ サイエンスカフェⅣ 自然環境論Ⅰ 自然環境論Ⅱ 自然環境論Ⅲ 自然災害論 地球科学史Ⅰ 地球科学史Ⅱ 気候変動論Ⅰ 気候変動論Ⅱ 環境健康論Ⅰ 環境健康論Ⅱ エネルギー論Ⅰ 環境モデル論Ⅰ 環境モデル論Ⅱ 政策科目 環境科学Ⅰ 環境科学Ⅱ 環境科学Ⅲ 自然環境論Ⅳ 自然環境政策論Ⅰ 自然環境政策論Ⅱ エネルギー論Ⅱ 衛生・公衆衛生学Ⅰ 衛生・公衆衛生学Ⅱ 衛生・公衆衛生学Ⅲ 大気と社会Ⅰ 大気と社会Ⅱ	選択必修 6単位以上
環境総合科目	政策科目 食と農の環境学Ⅰ 食と農の環境学Ⅱ 食と農の環境学Ⅲ 公害防止管理論Ⅰ 公害防止管理論Ⅱ 廃棄物・リサイクル論 環境教育論 キャリア入門 グローバルスタディーズⅠ グローバルスタディーズⅡ ローカルスタディーズⅠ ローカルスタディーズⅡ スポーツビジネス論Ⅰ スポーツビジネス論Ⅱ 環境マネジメントスタディーズⅠ 環境マネジメントスタディーズⅡ	

2018年度以降開講していない科目については、掲載していません。

## 3.1.3 卒業所要単位

## 【留学生用】2017年度以降入学者用カリキュラム

区分・系列		単位要件					
I L A C ( ア イ ラ ッ ク ) 科 目	1 0 0 番 台	基盤科目	0群	選択	40 単 位 以 上		
			1群	選択必修		4単位以上	
			2群	選択必修		4単位以上	
			3群	選択必修		4単位以上	
			5群	必修		2単位(スポーツ総合演習)	
	選択	(修得上限2単位)					
	2 0 0 番 台	外国語科目	4群	日本語		必修	4単位
				英語または 諸外国語		必修	2単位
				0群		選択	
	専 門 科 目	リ テ ラ シ ー 科 目	フレッシュマン科目	「人間環境学への招待」		必修	2単位
「基礎演習」				必修	2単位		
スキルアップ科目			情報処理	選択必修	2単位以上		
			アクティブ語学				
展 開 科 目		法律・政治関連科目群 経済・経営関連科目群 社会・地域関連科目群 人文科学関連科目群 自然科学関連科目群 環境総合科目	コース共通※1	選択必修	10単位以上		
			コースコア※1	選択必修	20単位以上		
			コース連環※1	選択			
		「人間環境セミナー」	選択必修	6単位以上	(修得上限なし)		
		「フィールドスタディ」			(修得上限8単位)		
		「キャリアチャレンジ」			(修得上限6単位)		
	「研究会」	選択	(修得上限20単位)				
	卒業論文	「研究会修了論文」	選択	(修得上限2単位)			
		「コース修了論文」					
	「人間環境特論」	選択	(修得上限なし)				
	「インターンシップ」※2	選択	(修得上限4単位)				
	「スタディ・アブロード」	選択	(修得上限16単位)				
	「SCOPE科目」	選択	(修得上限12単位)				
	「自由科目」※3	選択	(修得上限20単位)				

※1 科目は1年生から履修可能です。コースは2年次から選択します。コース関連科目は「コース関連表」参照。

※2 「インターンシップ」は、2018年度末で廃止になりました。

※3 展開科目の「自由科目」には「他学部公開科目」、「ESOP科目」、「ERP科目」、「グローバルオープン科目」、「短期語学研修」、「国際インターンシップ」、「国際ボランティア」が該当します。

3.1.4 カリキュラム構成図

I LAC科目 (40単位以上)

0群	1群	2群	3群	4群	5群
[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(56)科目 一覧表参照	[必修] 英語 ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 スペイン語 朝鮮語 日本語  [選択] 選択英語 4群外国語選択 科目(諸外国語)  学部-(57)科目 一覧表参照	スポーツ総合演習 スポーツ総合演習S 健康の科学IA/IB

学部専門科目 (90単位以上)

●リテラシー科目 (6単位以上)

フレッシュマン科目 (4単位)	スキルアップ科目 (2単位以上)		
人間環境学への招待 基礎演習	<情報処理> 情報処理基礎 ネットワークとマルチメディア 統計とデータ分析	<アクティブ語学> 英語Ⅰ (初級会話) 英語Ⅱ (中級会話) 英語Ⅲ (上級会話) 英語Ⅳ (ビジネス会話)	<テーマ別英語> テーマ別英語 1 テーマ別英語 2 テーマ別英語 3 テーマ別英語 4

●展開科目 (コース共通科目から10単位以上かつコースコア科目から20単以上を含む84単位以上)

科目群	展開科目	政策科目					
法律・政治関連	基幹科目 憲法の基礎 刑法の基礎 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ アメリカ法の基礎 民事法Ⅰ 民事法Ⅱ 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 市民社会と政治 行政学 地方自治論 国際関係論 平和学 政策科目 環境法Ⅰ 環境法Ⅱ 環境法Ⅲ 環境法Ⅳ 労働環境法 国際環境法 アメリカ環境法 自治体環境政策論Ⅰ 自治体環境政策論Ⅱ 地球環境政治論 地域協力・統合 エネルギー政策論 人間の安全保障						
経済・経営関連	基幹科目 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 公共経済学 現代企業論 ビジネスヒストリー 経営学入門 環境経営と会計 簿記入門Ⅰ、簿記入門Ⅱ 政策科目 環境経済論Ⅰ 環境経済論Ⅱ 環境経営論Ⅰ 環境経営論Ⅱ CSR論Ⅰ CSR論Ⅱ 環境ビジネス論 国際環境政策Ⅰ 国際環境政策Ⅱ 途上国経済論Ⅰ 途上国経済論Ⅱ 国際経済協力論Ⅰ 国際経済協力論Ⅱ						
社会・地域関連	基幹科目 現代社会論Ⅰ 現代社会論Ⅱ 現代社会論Ⅲ NP0・ボランティア論 社会統計論 フィールド調査論 ファシリテーション論 グローバル・コミュニケーション 政策科目 地域形成論 地域経済論 地域福祉論 地域コモンズ論 都市環境論Ⅰ 都市環境論Ⅱ 都市デザイン論 環境社会論Ⅰ 環境社会論Ⅱ 環境社会論Ⅲ 労働環境論Ⅰ 労働環境論Ⅱ NGO活動論 災害政策論 科学技術社会論 社会開発論 開発教育 文化経営論 アーティストと社会貢献 国際社会学						
人文科学関連	基幹科目 環境倫理学 生命の現在と倫理 西欧近代批判の思想 仏教思想 日本美術史論 西洋美術史論 日本詩歌の伝統 日本環境史論Ⅰ ヨーロッパ環境史論Ⅰ 比較演劇論Ⅰ 環境表象論Ⅰ 環境人類学Ⅰ 現代思想と人間Ⅰ 政策科目 環境哲学基礎論 日本環境史論Ⅱ ヨーロッパ環境史論Ⅱ 比較演劇論Ⅱ 環境表象論Ⅱ 環境人類学Ⅱ 環境人類学Ⅲ 現代思想と人間Ⅱ						
自然科学関連	基幹科目 サイエンスカフェⅠ サイエンスカフェⅡ サイエンスカフェⅢ サイエンスカフェⅣ 自然環境論Ⅰ 自然環境論Ⅱ 自然環境論Ⅲ 自然災害論 地球科学史Ⅰ 地球科学史Ⅱ 気候変動論Ⅰ 気候変動論Ⅱ 環境健康論Ⅰ 環境健康論Ⅱ エネルギー論Ⅰ 環境モデル論Ⅰ 環境モデル論Ⅱ 政策科目 環境科学Ⅰ 環境科学Ⅱ 環境科学Ⅲ 自然環境論Ⅳ 自然環境政策論Ⅰ 自然環境政策論Ⅱ エネルギー論Ⅱ 衛生・公衆衛生学Ⅰ 衛生・公衆衛生学Ⅱ 衛生・公衆衛生学Ⅲ 大気と社会Ⅰ 大気と社会Ⅱ						
環境総合科目	政策科目 食と農の環境学Ⅰ 食と農の環境学Ⅱ 食と農の環境学Ⅲ 公害防止管理論Ⅰ 公害防止管理論Ⅱ 廃棄物・リサイクル論 環境教育論 キャリア入門 グローバルスタディーズⅠ グローバルスタディーズⅡ ローカルスタディーズⅠ ローカルスタディーズⅡ スポーツビジネス論Ⅰ スポーツビジネス論Ⅱ 環境マネジメントスタディーズⅠ 環境マネジメントスタディーズⅡ						

2018年度以降開講していない科目については、掲載していません。

### 3.1.5 進級するためには

進級するためには、各年次2 Semester 在学し、各年次に下記の単位要件を満たさなければなりません。1単位でも不足や間違いがあると、進級・卒業できないので注意してください。

#### 進級に関する規程（人間環境学部）

**第1条** 第1年次より第2年次へ進級する者は、8単位以上を修得しなければならない。

**第2条** 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次に4単位以上を修得しなければならない。  
ただし、人間環境学への招待及び基礎演習は修得していなければならない。

**第3条** 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の単位を修得しなければならない。  
(1) 市ヶ谷基礎科目※のうち4群（必修）、5群及びスキルアップ科目の卒業所要単位  
(2) 前号の単位を含め81単位以上

**第4条** 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。

**第5条** 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

※上記単位数には教職および資格課程科目は含みません。

※2017年度以降入学者は、「ILAC科目」として履修します。

※上記規程のほか、在学年数も進級・卒業に影響します。詳細は共通- (3)を確認してください。

### 3.1.6 履修可能単位数

#### (1) セメスター・年間の履修登録上限単位

人間環境学部では、各セメスターおよび年間での履修登録単位数に上限を設けています。各自、(3)履修登録上限単位数計算式により計算してください。

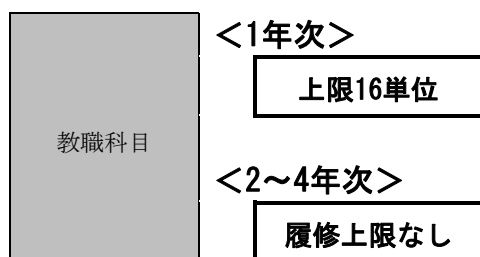
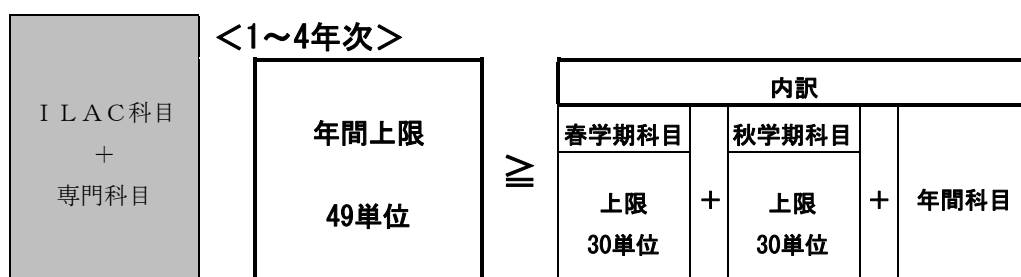
上限単位数には「教職科目」「資格科目」の単位数は含みません。

上限単位数を超えて登録した場合、登録エラーとなり正常に履修登録ができません。

#### (2) 通年科目について

通年科目の履修登録および削除・取消は、春学期の履修登録期間および履修取消期間にのみ行うことができます。秋学期に追加で登録・取消を行うことは出来ません。成績発表は秋学期終了時になります。

#### (3) 履修登録可能単位数



留級した場合に履修登録できる単位数

留級した年次の上限単位を適用します。上記の履修可能単位数を参照してください。

# 人間環境学部

## リフレッシュ・ステージ・プログラム (RSP)

### 履修規程

## 3.5 リフレッシュ・ステージ・プログラム（RSP）の履修規程

## 3.5.1 卒業所要単位

カリキュラム（RSP用）

区分・系列			単位要件				
I L A C ( アイ ラ ック ) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0 群		選択		36 単 位 上 上
			1 群 ☆1	選択必修	☆1 から 4 単位以上	☆1 から ☆3 の うち 12 単 位以上	
			2 群 ☆2	選択必修	☆2 から 4 単位以上		
			3 群 ☆3	選択必修	☆3 から 4 単位以上		
			5 群 ☆4		必修	☆4 から 2 単位以上	
	科 目 外 国 語	4 群	英語 ☆5	必修	☆5 からいずれか 1 言語 6 単位以上		
			諸外国語 ☆5				
	2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0 群		選択		36 単 位 上 上
			1 群 ☆1	選択必修	☆1 から 4 単位以上	☆1 から ☆3 の うち 12 単 位以上	
			2 群 ☆2	選択必修	☆2 から 4 単位以上		
3 群 ☆3			選択必修	☆3 から 4 単位以上			
5 群 ☆4			必修	☆4 から 2 単位以上			
科 目 外 国 語	4 群	諸外国語 ☆5	必修	☆5 からいずれか 1 言語 6 単位以上			
		英語 諸外国語共通 ☆5					
専 門 科 目	リ テ ラ シー 科 目	「人間環境学への招待」		必修 2 単位以上		88 単 位 上 上	
		「基礎演習」					
		情報処理					
		「NPO・ボランティア論」					
		「ファシリテーション論」					
		アクティブ語学 テーマ別英語					選択
	社 会 連 携 探 求 科 目	「人間環境セミナー」		必修 2 単位以上			
		「フィールドスタディ」					
		「キャリアチャレンジ」					
	展 開 科 目	法律・政治関連科目群		基幹・政策科目ごとおよび科目群ごとの履修制限 はありません			
		経済・経営関連科目群					
		社会・地域関連科目群					
		人文科学関連科目群					
		自然科学関連科目群					
		環境総合科目		選択(修得上限 20 単位)			
		「研究会」		選択(修得上限 2 単位)			
		「卒業論文」	「研究会修了論文」		選択(修得上限 2 単位)		
			「プログラム修了論文」				
		「人間環境特論」		選択(修得上限なし)			
		「スタディ・アブロード」		選択(修得上限 16 単位)			
「SCOPE 科目」		選択(修得上限 12 単位)					
「自由科目」※注 1		選択(修得上限 30 単位)					
卒業所要単位			124 単位以上				

※注1 展開科目の「自由科目」には「他学部公開科目」、「ESOP科目」、「ERP科目」、「グローバルオープン科目」、「短期語学研修」、「国際インターンシップ」、「国際ボランティア」が該当します。



3.1.2 カリキュラム構成図

ILAC科目(36単位以上)

0群	1群	2群	3群	4群	5群
[基礎] [リベラル]  学部-(90)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(90)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(90)科目 一覧表参照	[基礎] [リベラル]  学部-(90)科目 一覧表参照	[必修] 英語 ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 スペイン語 朝鮮語  [選択] 選択英語 4群外国語選択 科目(諸外国)  学部-(91)科目 一覧表参照	スポーツ総合演習 スポーツ総合演習S 健康の科学LA/LB

学部専門科目(88単位以上)

●リテラシー科目

リテラシー科目(2単位以上)	リテラシー科目(選択)
人間環境学への招待 基礎演習  <情報処理> 情報処理基礎 ネットワークとマルチメディア 統計とデータ分析	<アクティブ語学> 英語Ⅰ(初級会話) 英語Ⅱ(中級会話) 英語Ⅲ(上級会話) 英語Ⅳ(ビジネス会話)  <テーマ別英語> テーマ別英語1 テーマ別英語2 テーマ別英語3 テーマ別英語4

●展開科目(社会連携探求科目から2単位以上を含む86単位以上)

科目群	社会連携探求科目				人間環境セミナー フィールドスタディ キャリアチャレンジ			
法律・政治関連	基幹科目	憲法の基礎 刑法の基礎 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ アメリカ法の基礎 民事法Ⅰ 民事法Ⅱ 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 市民社会と政治 行政学 地方自治論 国際関係論 平和学			政策科目			
	政策科目	環境法Ⅰ 環境法Ⅱ 環境法Ⅲ 環境法Ⅳ 労働環境法 国際環境法 アメリカ環境法 自治体環境政策論Ⅰ 自治体環境政策論Ⅱ 地球環境政 治論 地域協力・統合 エネルギー政策論 人間の安全保障						
経済・経営関連	基幹科目	ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 公共経済学 現代企業論 ビジネスヒストリー 経営学入門 環境経営と会計 簿記入門Ⅰ、簿記入門Ⅱ			政策科目			
	政策科目	環境経済論Ⅰ 環境経済論Ⅱ 環境経営論Ⅰ 環境経営論Ⅱ CSR論Ⅰ CSR論Ⅱ 環境ビジネス論 国際環境政策Ⅰ 国際環境政策Ⅱ 途上国経済論Ⅰ 途上国経済論Ⅱ 国際経済協力論Ⅰ 国際経済協力論Ⅱ						
社会・地域関連	基幹科目	現代社会論Ⅰ 現代社会論Ⅱ 現代社会論Ⅲ 社会統計論 フィールド調査論 グローバル・コミュニケーション			政策科目			
	政策科目	地域形成論 地域経済論 地域福祉論 地域コモンズ論 都市環境論Ⅰ 都市環境論Ⅱ 都市デザイン論 環境社会論Ⅰ 環境社会論Ⅱ 環境社会論Ⅲ 労働環境論Ⅰ 労働環境論Ⅱ NGO活動論 災害政策論 科学技術社会論 社会開発論 開発教育 文化経営論 アーティストと社会貢献 国際社会学						
人文科学関連	基幹科目	環境倫理学 生命の現在と倫理 西欧近代批判の思想 仏教思想 日本美術史論 西洋美術史論 日本詩歌の伝統 日本環境史論Ⅰ ヨーロッパ環境史論Ⅰ 比較演劇論Ⅰ 環境表象論Ⅰ 環境人類学Ⅰ 現代思想と人間Ⅰ			政策科目			
	政策科目	環境哲学基礎論 日本環境史論Ⅱ ヨーロッパ環境史論Ⅱ 比較演劇論Ⅱ 環境表象論Ⅱ 環境人類学Ⅱ 環境人類学Ⅲ 現代思想と人間Ⅱ						
自然科学関連	基幹科目	サイエンスカフェⅠ サイエンスカフェⅡ サイエンスカフェⅢ サイエンスカフェⅣ 自然環境論Ⅰ 自然環境論Ⅱ 自然環境論Ⅲ 自然災害論 地球科学史Ⅰ 地球科学史Ⅱ 気候変動論Ⅰ 気候変動論Ⅱ 環境健康論Ⅰ 環境健康論Ⅱ エネルギー論Ⅰ 環境モデル論Ⅰ 環境モデル論Ⅱ			政策科目			
	政策科目	環境科学Ⅰ 環境科学Ⅱ 環境科学Ⅲ 自然環境論Ⅳ 自然環境政策論Ⅰ 自然環境政策論Ⅱ エネルギー論Ⅱ 衛生・公衆衛生学Ⅰ 衛生・公衆衛生学Ⅱ 衛生・公衆衛生学Ⅲ 大気と社会Ⅱ						
環境総合科目	政策科目	食と農の環境学Ⅰ 食と農の環境学Ⅱ 食と農の環境学Ⅲ 公害防止管理論Ⅰ 公害防止管理論Ⅱ 廃棄物・リサイクル論 環境教育 論 キャリア入門 グローバルスタディーズⅠ グローバルスタディーズ Ⅱ ローカルスタディーズⅠ ローカルスタディーズⅡ スポーツビジネス論Ⅰ スポーツビジネス論Ⅱ 環境マネジメントスタディーズⅠ 環境マネジメントスタディーズⅡ			研究会(ゼミナール)  研究会修了論文/プログラム修了論文  人間環境特論  スタディ・アプロード  自由科目			

### 3.5.3 進級するためには

進級するためには、各年次2 Semester 在学し、各年次に下記の単位要件を満たさなければなりません。1単位でも不足や間違いがあると、進級・卒業できないので注意してください。

#### 進級に関する規程（人間環境学部）

- 第1条** 第1年次より第2年次へ進級する者は、第1年次において8単位以上を修得しなければならない。
- 第2条** 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次において8単位以上を修得しなければならない。
- 第3条** 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに認定単位を含む75単位以上を修得しなければならない。
- 第4条** 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。
- 第5条** 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

※上記単位数には教職および資格課程科目は含みません。

※上記規程のほか、在学年数も進級・卒業に影響します。詳細は共通- (3) を確認してください。

### 3.5.4 履修可能単位数

#### (1) セメスター・年間の履修登録上限単位

人間環境学部では、各セメスターおよび年間での履修登録単位数に上限を設けています。各自、(3)履修登録上限単位数計算式により計算してください。

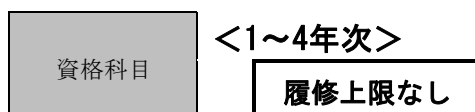
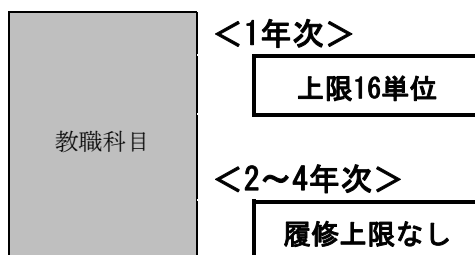
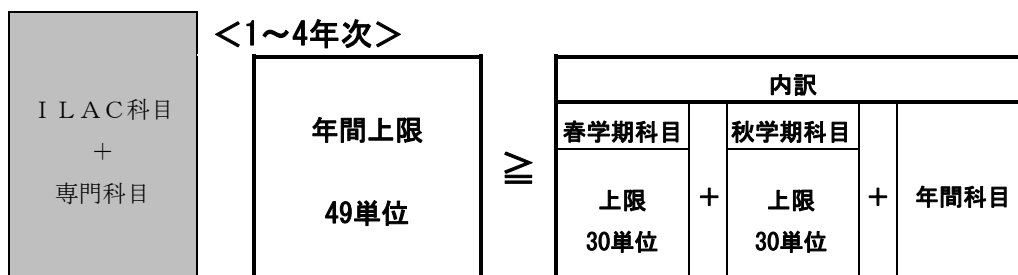
上限単位数には「教職科目」「資格科目」の単位数は含みません。

上限単位数を超えて登録した場合、登録エラーとなり正常に履修登録できません。

#### (2) 通年科目について

通年科目の履修登録および削除・取消は、春学期の履修登録期間および履修取消期間にのみ行うことができます。秋学期に追加で登録・取消を行うことは出来ません。成績発表は秋学期終了時になります。

#### (3) 履修登録可能単位数



留級した場合に履修登録できる単位数

留級した年次の上限単位を適用します。上記の履修可能単位数を参照してください。